



世界医療の向上にむけて
平成24年1月、電子カルテを導入
情報共有化でスムーズな対応が可能に
病院機能評価が無事更新!
疑問を解決! Q & A「介護保険ってなあに?」
TMA研修会が長崎で開催される
被災地の商品が飛ぶように売れる

滑石公民館で医療講演会を開く

第7回病院祭、盛大に開催

病院をめざして
地域に愛される
— 院長 堀内 芳夫



かたらんね

長崎北徳洲会病院 病院広報誌

2012
45号

ご自由にお取りください

健康講座のご案内

長崎北徳洲会病院では、患者さまをはじめ、地域の皆さまを対象に、定期的に院内外で「健康講座」を開催しています。健康な毎日をお過ごしいただくために、ご関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

✿ 便秘について

担当:薬剤科 薬剤師

とき 3月2日(金) 16:00~

場所 4階患者食堂

✿ 睡眠について

担当:2階病棟 看護師

とき 3月16日(金) 16:00~

場所 4階患者食堂

✿ 応急手当について

担当:外来・手術室 看護師

とき 4月6日(金) 16:00~

場所 4階患者食堂

✿ 脳トレ体操

担当:通所リハビリ 介護福祉士

とき 4月20日(金) 16:00~

場所 4階患者食堂

※ 内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

Topics ★★



駐車場の拡張で、 来院が便利に

当院では長年、駐車場が狭いという問題を抱えていましたが、現在、正面玄関前の空き地を駐車場として活用しています。お気軽にご利用ください。

医療法人 徳洲会の理念 ◎生命を安心して預けられる病院 ◎健康と生活を守る病院

編集後記

当院はついに、電子カルテを導入しました!
患者さまのご不便を少しでも解消しようと、今、職員一丸となって頑張っております。

パソコンに初めて触れる職員もいますが、
どうか、温かい目で見守っていただければ
と思います。

医療法人 徳洲会
長崎北徳洲会病院 広報誌 かたらんね 2012・45号 平成24年2月20日発行

企画・発行/医療法人 徳洲会 長崎北徳洲会病院

長崎市滑石1丁目12番5号 TEL.095-857-3000(代) FAX.095-856-3079

ACCESS 長崎バス 横道バス停下車、徒歩1分 JR JR道ノ尾駅下車、徒歩10分

年中無休 24時間救急対応



外来予定表

科 目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総 外 合 来	森川	森川	森川	中川	森川	
内 科	中川	中川	松本	貞森	中川	貞森
心 内 療 科	立石	立石	立石	立石	立石	立石
外 科		門原		門原	門原	当番 医師
脳 神 経 外 科	中村	鬼塚		鬼塚	中村	
整 外 形 科	堀内	堀内	堀内	堀内	堀内	
形 外 成 科	芳原		矢野			

夕 診	内 科 系	当 番 医 師	福 田 立 石	当 番 医 師	井 上	中 川
17時 ~ 20時	外 科 系	中村	堀内	門原	鬼塚	堀内

※医師の都合により、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

※一般診療は、午前診・夕診となっております。(土曜は午前診のみ)

ただし、急患の方はいつでも受付けいたします。



した。1988年（昭和63年）、地域医療計画が施行され、長崎市のような病床過剰医療圏では病院の新設増床が認められなくなりました。従つて当院は、開設時の108床のまま、縁起の良い数字ですが、これ以上の増床はできず現在に至っています。高齢少子化社会も着実に忍び寄つてきました。そんな中で、1990年（平成2年）に訪問看護をいち早く開始しました。のちに介護保険法導入の時には、ほぼ全てのサービスについて実績ができてきました。

2000年以降、病床の区分や医療連携体制が叫ばれる中では、救急医療や介護事業の拡大など、それまで培つてきた目標と実践を再確認し、地域に密着した病院づくりに邁進してきました。新しい医療器械を導入し、新しい医療技術を学び、地域の方々に提供してきました。

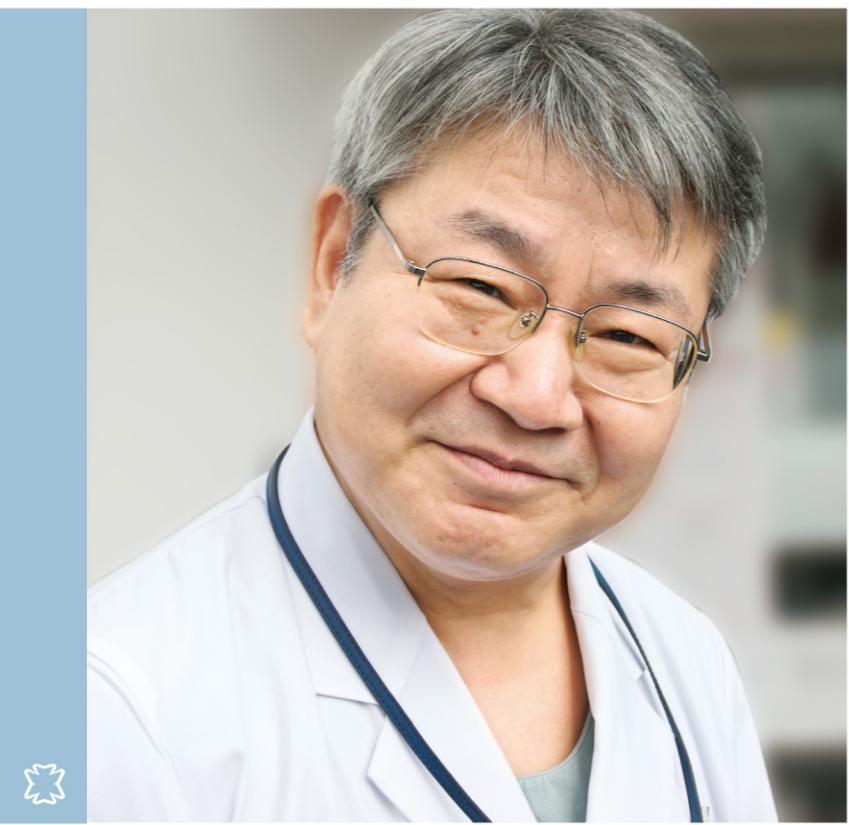
25年間のご愛顧に心より感謝申し上げます。これからもご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

しかし、今日の医療は高齢少子化社会への対応、救急医療災害医療、医師・看護師なども実労働者不足や偏在等々、未解決どころか、問題がより深刻化しつつある課題ばかりです。

25周年にあたり、これまでの病院の選択は概ね正しかったと思います。第1に、患者さまや地域の方々のために良し。次に、国や社会のために良し。さらに、病院の経営に良し。職員の生活や生き甲斐のために良し。地域の方々のご要望に応えようと一所懸命、こちらの条件を整えつつ努力してきました。行き届かないところも多々あると心得ています。何とかしなければ、苦心の最中です。今後も、これまで通り、努力と研鑽を積んで、地域の方々に愛される病院をめざそうと思います。

当院は24時間365日、救病救急を断らない病院として、1986年（昭和61年）に開院しました。医療政策は医療費抑制、患者負担増加の波が始まっています。

2011年（平成23年）は当院開院25周年の年となりました。また、1961年（昭和36年）に日本の医療が国民皆保険制度となつて50年の年でもあります。全国民が医療保険に加入している体



地域に愛される病院をめざして

院長 堀内芳夫

長崎北徳洲会病院開院25周年

院長 堀内芳夫

長崎北徳洲会病院25年の歩み

長崎北徳洲会病院開院25周年

長崎北徳洲会病院25年の歩み

平成20年4月 11月	平成22年4月 10月	平成21年4月 7月	平成20年4月 12月	平成19年1月 12月	平成18年6月 9月	平成17年8月 12月	平成16年2月 7月	平成15年9月 11月	平成14年2月 10月	平成13年4月 12月	平成12年6月	平成11年1月 9月	平成10年11月 平成9年3月	平成8年11月 平成7年9月	平成5年3月 平成4年4月	平成3年11月 平成2年1月	昭和62年9月 昭和61年11月	開院病床数108床



ユリティ面の一層の徹底を図つてきますので、理解とご協力をよしくお願いいたします。

これからも、患者さまに電子カルテが導入されて良かつたと感じただけのように、円滑な運用やセキ

対応ができるないこともあるかもしれませんが、お気付きの点などがあれば、ご遠慮なくお近くのスタッフ、受付にお申し出ください。

導入間もない時期で、スマートな対応ができるないこともあるかもしませんが、お気付きの点などがあれば、ご遠慮なくお近くのスタッフ、受付にお申し出ください。

情報の共有化がスマートに行える。患者さまの待ち時間が短縮される。

過去の検査や処方を確認しやすい。検索やデータの抽出が容易にできる。

カルテをすぐに用意できる。検査などの伝票を紛失する」とがない。

過去の検査や処方を確認しやすい。検索やデータの抽出が容易にできる。

情報の共有化がスマートに行える。患者さまの待ち時間が短縮される。

過去の検査や処方を確認しやすい。検索やデータの抽出が容易にできる。

「待ち時間が大幅に短縮します」 ～ソフト開発会社担当者に聞く～



平成24年1月、電子カルテを導入 情報共有化でスムーズな対応が可能に



当院ではこれまで、患者さまの情報や診療の経過を紙のカルテに記載していましたが、平成24年1月に電子化を図りました。患者さまの情報はパソコンで入力され、データをサーバーで二元管理、これによって効率的な運用が可能になります。

患者さまの受診の仕方に変更はありませんので、どうぞご安心ください。これまで同様、受付で手続きをしていただきあと、待合室でお待ちいただきます。このあと、医師や看護師、各スタッフが患者さまをお呼びしてご案内します。



逆に「デメリットもあるとですか?」「スタッフがパソコン操作に慣れる必要がある」とおっしゃつか。また、万が一、データを保存しているサーバー 자체が故障してしまふと、診療に影響が出る場合があります。これからがスタートですから、この電子カルテを使いこなしてほしいです。皆さんに「便利だな」と思っていただけのように、私たちもサポートしていきます」



世界医療の向上にむけて「TMAT研修会」が長崎で開催される

生命と健康を守るために世界的な医療支援を進めている
長崎市のことろ医療福祉専門学校を会場に開かれ、実際の災

阪神淡路大震災がきっかけ

TMATとは、世界の人々の生命と健康を守るために医療・災害支援・教育などの総合的な医療支援を各國政府やNGO、地域団体と協力しながら活動しているNPO団体です。

平成7年1月の阪神淡路大震災で徳洲会グループの医師などが中心となり、ボランティアグループとして救援活動を始めたことがきっかけとなり、TD-MAT(徳洲会災害医療救援隊)が誕生しました。その後、TD-MATの災害医療救援活動は国内だけにとどまらず、国境を越えた医療支援を実現し、世界医療の向上にむけた活動を行っています。

2005年7月には「特定非営利法人TMAT」としてNPO法人を創立。「生命だけは平等だ」の理念のもと、TD-MAT災害医療救援活動、また医療技術支援活動等などを通して、よりよい医療を世界中の人々が受けられるように、迅速かつ継続的なサポートを行っています。

また、TMATは実践的な活動が可能な人材を育成すべく、災害救護・国際協力ベーシックコースや、さら

に上級のアドバンスコースなどの教育も全国で実施しており、昨年、長崎でベーシックコースの開催が実現しました。

本番さながらの緊張感が

2日間にわたる研修内容は多岐にわたり、病院防災、自炊の訓練、通信機器の取り扱い、巡回診療、災害直後の死傷者の負傷レベルを即時に判断し、医師の診察の優先順位を決定するトリアージの訓練、ロジスティック(物流関係)、出動準備、記者会見の訓練などを行いました。どれも実践的な内容ばかり。

長崎では、この種の研修があまり開催されていなかったことから、新聞社やテレビ局の取材があり、中でもトリアージの訓練に報道各社の注目が集まっていました。

この訓練には、負傷者役を演じた、ことろ医療福祉専門学校の生徒がボランティアとして参加。特殊メイクを施し、また演技指導まで受けたため、現実の災害現場を想定した、本番さながらの緊張感あふれる研修が繰りひろげられました。

病院機能評価が無事更新！

日本医療機能評価機構が認定する病院機能評価の更新が、無事行われました。

最初の認定を受けて5年が経過し、再度の認定を目指していたもので、前回の受審の時に比べて、時代に合わせた評価項目が追加されており、医療の質や安全管理はもちろん、禁煙に対する取り組みなども評価の対象になりました。

審査の結果は、見事に認定！

当院では、これからも、患者さまのための医療を目指して、時代の流れに後れることのない病院作りを目指していきます。



病院評価機能とは…病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者（サーベイサー）が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果、明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。

（公益財団法人日本医療機能評価機構HPより抜粋）

A 現代日本の高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズが大しましたが、核家族化の進行と介護する家族の高齢化など、要介護者を支えてきた家族をめぐる状況が変化したため、社会的入院が増加していました。

社会的入院の解消と、在宅介護（居宅介護）促進を目的に2000年4月より介護保険制度が導入されました。介護保険制度維持のために、5年毎の制度見直しが制定されており、保険料や施設への報酬に関しては、3年毎の見直しが制定されていますが、介護保険制度が制定されてから介護保険の認定を受ける人が国の予想を遥かに超え、制度の維持が難しくなるという懸念が出てきました。利用者の負担費用の増加などの問題も抱えており、来年度の制度改正にも注目が集まっています。

第7回病院祭、盛大に開催

被災地の商品が飛ぶように売れる

毎年恒例となった病院祭が昨年10月、開催されました。

第7回を迎える今回も天候に恵まれ、多くの来場者がありました。敷地を従来の玄関前駐車場だけでなく、隣接した空き地も利用したこと、今までにない広いスペースが確保され、地域の皆さんにとっても、これまで以上に楽しい病院祭となりました。特に来場者の目を引いたのは、福島の物産市。東日本大震災後、福島産の野菜や果物が、県によっては販売が拒否されるなどの風評被害がありました。災害活動を行ってきた当院では、被災地を少しでも応援したいという一心で、福島産の商品を会場で販売。放射線測定量と安全性をアピールしたところ、被爆地である長崎という土地柄もあったのか、好評を博し、売り切れ続出の大盛況となりました。このほか、上五島の物産や、長崎蒲鉾（長崎一番）、いちごの家、長崎県難病相談・支援センターの出店もあり、それぞれのブースには大きな人だかりができました。

※ご協力をいただきました皆様にこの場をお借りして御礼を申し上げますとともに、次回の病院祭も、どうぞご期待ください。

フィナーレを飾る
抽選会

毎年、
人気のある
餅つき



Q 介護保険つてなあに？

A 現代日本の高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズが大しましたが、核家族化の進行と介護する家族の高齢化など、要介護者を支えてきた家族をめぐる状況が変化したため、社会的入院が増加していました。



介護保険についてお聞きになりたいことがあれば、介護センターのケアマネジャーにお尋ねください。
次回は申請方法と、利用できる介護サービスの種類についてお答えします。

Q 介護保険つてなあに？

A 現代日本の高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズが大しましたが、核家族化の進行と介護する家族の高齢化など、要介護者を支えてきた家族をめぐる状況が変化したため、社会的入院が増加していました。

社会的入院の解消と、在宅介護（居宅介護）促進を目的に2000年4月より介護保険制度が導入されました。介護保険制度維持のために、5年毎の制度見直しが制定されており、保険料や施設への報酬に関しては、3年毎の見直しが制定されていますが、介護保険制度が制定されてから介護保険の認定を受ける人が国の予想を遥かに超え、制度の維持が難しくなるという懸念が出てきました。利用者の負担費用の増加などの問題も抱えており、来年度の制度改正にも注目が集まっています。

介護保険でのサービスを利用するには、まず被保險者が介護をする状態であることを公的に認定（要介護認定）する必要があります。要介護認定は認定調査の結果をもとに各市町村の保険者によって行われ、非該当・要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5の8つの段階に分けられます。この結果をもとに、どのような介護サービスを組み合わせて利用するか、「コードインデックス」によるのが介護支援専門員（ケアマネジャー）です。



TMAT活動ギャラリーで 大震災救援活動をパネル展示

東日本大震災の医療活動には当院も参加しましたが、そのTMATの活動内容を伝えるパネルを現在、院内に掲示しています。場所は、玄関前の階段の裏(レントゲンの部屋の前)です。ご来院の際、ぜひご覧になつてください。



「巨大病院の挑戦」 DVD配布のお知らせ

医療法人徳洲会の長編ドキュメントが昨年4月24日、BS11で放映されました。その内容がこのほど、DVDとなりました。徳洲会病院ができた歴史的な背景など、様々なテーマを90分にわたって特集しています。徳田虎雄理事長や、親交のある石原東京都知事、小泉元首相らが出演しています。元NHKの岡崎泰氏がプロデューサーを務め、番組の制作には4年もの歳月が費やされました。DVDは受付前に設置しているので、ご自由にお持ち帰りください。

滑石公民館で医療講演会を開く

地域の皆さんを対象にした医療講演会を昨年11月15日、滑石公民館で開催。医師と管理栄養士が医療に関する現在の問題について、わかりやすく話しました。

当院は予防医療に取り組んでいます

滑石公民館で医療講演会を開く

地域の皆さんを対象にした医療講演会を昨年11月15日、滑石公民館で開催。医師と管理栄養士が医療に関する現在の問題について、わかりやすく話しました。



※当院ではこれからも、地域の皆さんを対象にした活動を続けていきますので、開催のご希望などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。開催費用は無料です。お問い合わせは医療連携室・宮崎(095-857-3000)まで。

当處がこれから注力する必要があると考
えている項目の一つに、予防医療があります。
なかでも、医療について医師や看護師などの
専門職がお話しする医療講演は積極的に開
催しています。

最近では地域からの依頼や相談も増えて
おり、昨年11月15日、病院の近隣にある滑石
公民館での開催が実現しました。